



モルモン書のやくそく

だい54しょう



モロナイは、さいごにきんばんをうめる前に、レーマン人と、このきろくを読むすべての人に、一つのやくそくをしました。(モロナイ10：1-2)



モロナイは言っています。「このきろくを読んで、よく考えてほしい。そして、これがしんじつかどうか天父にたずねなさい。」(モロナイ10：3-4)



そして、こうやくそくしました。「キリストをしんじて、心からたずねるならば、せいいの力によって、これがしんじつであることが分かるでしょう。」(モロナイ10：4-5)



「くいあらためて、イエス・キリストにしたがい、天父をあいするならば、かんぜんになることができます。」(モロナイ10：32)



モロナイは、きんばんにきろくを書きおえると、それをクモラのおかに作った石のはこにかくしました。そして、大きな石できろくをおおいました。こうして、モロナイのこのよでのつとめはおわりました。(モルモン8：4；ジョセフ・スミスーれきし1：52)